



「初心忘るべからず」

校長 寶満 幸博

気温の上昇とともに、校庭の草木や花、学習で観察する植物等がぐんぐん成長しています。本格的な夏の到来です。

今から600年以上前の室町時代に、日本の伝統芸能である能の完成者「世阿弥」が、「初心忘るべからず」と『花鏡』の中で述べています。「初めの志を忘れずがんばれ」や「新鮮さや純粋な気持ちを忘れずにいる事」といった意味に理解されていることが多いのですが、本当の意味は、「慣れてからも怠慢な姿勢にならずに、未熟な頃を思い出して精進するべきである」という、慢心やおごりを戒めた言葉だそうです。

四月当初に、子どもたちは、学習面、生活面、保健面等について、自分の目標を立てて頑張ってきました。目標達成のために意識を高くして継続していくことは非常に難しいです。学期途中でやや緩慢になったり、諦めそうになったりすることもあったのではないかと思います。しかし、その度に、友達と励まし合ったり、先生方や御家族に励まされたりしながら繰り返し努力をすることで、大きく成長したように思います。子供たちには、周りの方々に感謝しつつ「初心を忘れることなく」このまま成長し続けてほしいです。学校では、学期末に向けて、子供一人一人を認め、頑張ったところをたくさんほめたいと思います。御家庭でも、一学期頑張った子供たちをうんとほめて励ましていただけたらと思います。

さて、もう少し『花鏡』を読み進めていきますと、

- 「是非の初心忘るべからず」・・・ 判断基準になる初心者時代の未熟さを忘れるべきでない。
- 「時々の初心忘るべからず」・・・ 初心者から老年まで修行する中で、それぞれの時期における初心の段階を忘れるべきではない。
- 「老後の初心忘るべからず」・・・ 年を取ったからといって終わりではない、老年になっても初めての事があるのでやはり初心を持って芸を極めるべきである。

と書かれています。常に「初心忘るべからず」で、自分自身を振り返りながら、謙虚な姿勢で生きていかないといけないなど自戒することでした。

いよいよ、子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。『命』に関わる、「水難事故、交通事故、不審者、災害、感染症、熱中症」等に十分に気を付けて、日頃の学校生活ではできない貴重な体験をたくさんして、多くの思い出を作してほしいと思います。

最後になりましたが、一学期間、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。



県民の日

明治150周年を記念し、平成30年12月に「県民の日」を制定しました。これは、鹿児島県が誕生した明治4年の廃藩置県布告日が7月14日であったことに由来します。県民が、郷土の歴史や文化を見つめ直し、郷土に対する理解と関心を深め、ふるさとを愛する心を育むことにより、自信と誇りを持って、より豊かな鹿児島県を築き上げることを期する日です。本校でも、鹿児島県に関する図書コーナーを設置したり、鹿児島県を学ぶ授業を行いました。

水泳授業参観及び学級 PTA

梅雨が明け、竹子小学校にも本格的な夏がやってきました。校庭の木々は生き生きと葉を茂らせ、朝にはウグイスやヒヨドリのさえずりが聞こえてきます。自然に囲まれた本校ならではの、緑と鳥の音が響く穏やかな時間が、日々の学校生活に彩りを加えています。7月3日、快晴の中水泳授業参観及び学級 PTA が行われました。水泳授業では、保護者の



温かい眼差しに見守られながら、子どもたちはいきいきとした表情で授業に取り組んでいました。PTA では夏休みに向けた確認や話し合いがなされ実りある時間となりました。1学期も残すところあとわずか。子どもたちがこの夏も、自然の中で豊かな感性を育みながら、たくましく成長してくれることを願っています。



まち探検

1・2年生が生活科の学習の一環として、特産品市場「きらく館」へまち探検に出かけました。日ごろ何気なく通っている場所も、「探検」という視点で訪れると、新しい発見がいっぱいです。「いらっしやいませ」とあたたかく迎えてくださったお店の方に、お店のしくみや、どんなものが売られているのかを教えてくださいました。棚には地元の野菜や加工品、お菓子などがずらりと並び、「このお野菜は〇〇さんが作ったんだって!」「ユリも売ってるよ!」と、子どもたちは目を輝かせていました。今回の探検を通して、地域の方々が支えてくれていること、地元の特産品を大切にしていることを肌で感じたようです。

子ども一人一人を見つめて

竹子小学校では、子どもひとりひとりの学びを大切にするために、日々の授業改善に取り組んでいます。先月、3・4年生の学級で授業参観を行いました。子どもたちが「わかった!」「できた!」と実感できるように、また、互いの授業を見合うことで、「気づき」や「問い」を共有し、よりよい授業づくりにつなげています。こうした取り組みの積み重ねにより、教室では子どもたちの表情がいきいきとし、自ら考え、仲間と伝え合う姿が多く見られるようになってきました。

今年度は特に「国語科」の力を高めるため、また、「すべての子どもに学ぶ喜びを」という思いを胸に、教職員一丸となって授業の質を高めてまいります。

総合的な学習の時間



5・6年生が総学の時間に田植え体験を行いました。地域の方々のご協力のもと、子どもたちは田んぼに入り、苗を丁寧に植えていきました。手で土に触れ、苗を植えるという体験を通して、普段何気なく食べているお米がどれだけの手間と工夫のもとで育てられているのかを実感していました。この活動は、食への関心や自然への感謝の気持ちを育むとともに、地域の方々とのかかわりを通して、ふるさとへの愛着を深める貴重な機会となっています。秋の実りを、子どもたちは今から楽しみにしています。



読書旬間

読書旬間が行われました。期間中は、朝の時間を活用した読書タイムや、読み聞かせ、図書室クイズ、本の紹介コーナーなど、子どもたちが本とふれあう活動が校内のあちこちで行われました。

「どの本を読もうかな?」「この本、おもしろかった!」と、本を手にした子どもたちの表情はどれもいきいきとしており、普段はあまり読書をしない子ども、この期間中は楽しんで本の世界に入り込んでいました。

図書室では、先生方や図書委員によるおすすめ本コーナーも設けられ、シリーズものや昔話、図鑑など、さまざまなジャンルの本に出会うきっかけとなりました。



9月の行事等予定

- 1日(月) 2学期始業式・大掃除、命の教育の日 いじめを考える週間～9日
- 8日(月) 運動会練習スタート※体調管理に気を付けよう!
- 9日(火) 集金日
- 10日(水) 移動図書館
- 15日(月) 祝 敬老の日
- 16日(火) 第4回 PTA 理事会
- 23日(火) 祝 秋分の日
- 24日(水) SC 来校
- 30日(火) 運動会予行練習



8月は「戦争」について考える機会がたくさんあります。「あたりまえ」と思っている日常が、かけがえのないものであることを実感し、戦争を知らない世代だからこそ、「知ること・考えること・語り継ぐこと」の大切さを感じてほしいものです。本校では、命の尊さや平和のありがたさを心にとめながら、未来を担う子どもたちが“やさしさ”や“思いやり”をもって生きていけるよう、平和教育を続けていきます。